



# 八高支スクールライフ

青森県立八戸高等支援学校  
発行：令和7年11月25日  
第8号

## 進路指導を進めるために大切にしたいこと

日頃より、本校の進路指導について、御理解・御協力いただき感謝しております。産業現場等における実習に対しての準備等、ありがとうございます。

進路指導に関する話をしていくと、行き先のこと、第一に思い浮かぶことが多く、その行き先に対し、どういう力が必要かという内容が大半を占めていくように感じています。

学校で指導していることは、「技術を身に付けること」「良くない行動をしないように注意をすること」など、できるだけ卒業後に向け、培いたい内容になっています。それは、卒業後の生活がよりよいものになるためにと考えているからだと思えます。

しかし、私自身も忘れてしまいがちになることは、生徒が卒業後「どういう生き方をしたいか」ということを汲み取ることです。それを踏まえて指導していくことが大切になるのではないかと思います。日中活動以外のこと、就労時間のこと等様々あるかと思います。

学校の授業や産業現場等における実習で学び、経験したことを話したり、帰宅後見せたりする表情を隈無く見ていただき、担任の先生方にお伝えいただくことが、「よりよい生き方」を考えていく上で大切になっていきます。

保護者様の御意向と生徒本人の状況のすり合わせをしながら、まずは卒業後の充実した生活に向けてスムーズなスタートが切れるよう、協働していければと思います。

(進路指導主事 久山)

## 全国障害者スポーツ大会（10月25日～27日）

第24回全国障害者スポーツ大会（わたSHIGA輝く障スポ2025）が滋賀県で行われました。本校からは、陸上競技に2年3組大石和樹さん、卓球競技に2年1組原大輝さん、バレーボール競技に3年4組柳田温人さん、松村琉一翔さん、1年1組湯田凛大さんの計5人が出場しました。

大石さんは400mと4×100mリレーに出場して2つの銀メダルを獲得しました。原さんは一勝一敗の成績で銀メダルを獲得しました。柳田さん、松村さん、湯田さんは準決勝で昨年度優勝した佐賀県に0-2で敗れ、3位決定戦は強豪の和歌山県に0-2で敗れ、4位となりました。

全員が初めての全国大会でしたが、緊張の中、自分の力を発揮しようと頑張っていました。来年は青森県開催です。本校から多くの選手が活躍してほしいです。（小松崎）

## 普通科2学年修学旅行（11月5日～7日）

東京駅駅舎前で、笑顔の記念撮影から普通科2学年修学旅行が始まりました。1日目は自主研修等各学級の活動、2日目はディズニーランド、3日目は日本未来科学館という行程でした。1日目、私たちのクラスは、上野動物園を訪れ、大きなキリンやパンダを見学することができました。2日目のディズニーランドでは、開園と同時に入場し、アトラクションやパレード、買い物をして楽しむことができました。

帰りの新幹線では、疲れた様子も見られましたが、無事に八戸駅に到着することができてよかったです。

(小笠原優)



## 八戸港で釣れる海の生き物を調査しています

1年5組では、総合的な探究の時間に八戸市について調べる学習をしています。今回は、「八戸港で釣れる海の生き物」について調べる活動を行いました。

生徒たちは、事前に八戸港で釣れる魚の名前や特徴について、ICT機器を用いて調べ、サバやイワシが釣れることや釣り方についてまとめました。実際に鮫漁港へ行き釣りを体験することで、八戸市の海の豊かさに興味を広げていきました。

身近な地域や自然に目を向けることで、新たな発見や疑問が次々と生まれ、探究心が一層深まる授業となりました。（高山）



## ここで一句！ ～俳句の学習活動を通して～

「冷房の中 ゲームしまくり かぜひいた」2年6組では、国語の時間に、自分の生活や気持ちを見つめながら「俳句」にする学習活動に取り組みました。詠んだ歌を紙工芸班で作成した再生紙に綴り、八高支祭の時に学級前掲示板に展示しました。それぞれの生活や気持ちが垣間見えるほのぼのとした作品が揃いました。（池田）

